



ぎま のぶこ 議員  
儀間 信子

### ◆なぜ実現を見ないのか 「企業誘致」

**問** 恒久的な自主財源の確保の観点から、誘致の環境整備は最重要課題と考える。用途地域の見直し、都市マスタープランのあり、早急に取り組まなければ

ならない課題だ。

**建設部長** 国道329号から海側のマリントウン後背地、約150ヘクタールは一部改定を行い、企業が参入できるような土地利用に変更し、都市マスタープランの全面改定まで数年を要するため、先行して現行マスタープランに定められた土地利用方針を補充し、地区計画を誘導する為の運用基準となる市街化調整区域における土地利用方針及び地区計画ガイドラインを早急に検討する予定である。

### ◆職務の範囲か? 「教職員 の部活顧問、大きな負担」

**問** 授業を担当する教員が平日の放課後、土日も行事に参加をすることは、多忙化が叫ばれ

る中であって、さらに輪をかける状況だ。部活は教育的意義もあり、生徒の成長過程において貴重な場である。しかし、やり過ぎた部活は弊害を生む。休息日を設ける、時間を早めに切り上げる、専門の人を補助員として雇う等の解決策としてどうだろう。

**教育長** 部活動の実態を調査してみたい。朝から授業の前に部活することがあるのか。週1日は休養日を設けることは、両中学校も実施されているが、土日休みに顧問がどの程度かわかっているのか。調査をして軽減できる、短縮できることはないか、検討してみたい。

**教育部長** 現行では勤務時間内であれば職務であり、時間外



各種企業が集積する小那覇地域

### ◆病気休職者の復職のメド

**教育部長** 病気休職者は5人である。来年1月復帰予定が1人、4月の復帰予定が2人、未定が1人、そのまま産休予定が1人である。

### ◆農水産物流通施設

**問** 西原町が計画している農水産物流通・加工・観光拠点施設では、西原町の農水産物ほどの程度(%)提供できると予測しているのか。

**建設部長** 当該拠点施設の開設時における野菜類の年間総売上額は1億3,500万円と推計して



まえさと こうしん 議員  
前里 光信

した場合、町内産の占める割合は約4割になる。町では今後、観光拠点施設の整備と並行して農産物の生産拡大にも力を入れ、町内産の占める割合を5割以上確保していきたいと考えている。

### ◆農業の担い手確保

**問** 農業の担い手確保にどう取り組みむのか。

という状況にあるのか。

**建設部長** その件については農業委員会、農協、沖縄県中部農業改良普及センター等、関係機関と連携し、農業技術や知識の習得及び就農準備に必要な資金貸付の支援などに取り組む。

### ◆学童保育の実情

**問** 西原町の学童保育の実情について、町の支援を含め、ど



農水産物流通・加工・観光拠点施設のイメージパース

に移行して細かく区切って、努力した成果を自覚させたい等の意見が多数ある。このようなことから、3学期制への移行を提案する。教育長の見解は。

**教育長** 学期制検討委員会から今月1日、次のような答申があった。「検証の結果、多少の課題はあるものの、本町においては2学期制が定着し、順調に運営されており、学習環境を含め学力においても年々向上している。2学期制を継続すべきである」。教育委員会はこの答申を尊重し、2学期制を継続したいと考えている。

### ◆待機児童解消

**問** 沖縄タイムス紙面に「59人入園できず」の掲載がある。

これは、保育園の入所選定において、在園児と新規乳幼児を同列に選定したことで在園児が選定に漏れたことによる。本町も同列に選定しているとある。在園児が継続



おおしろ せいいち 議員  
大城 誠一

### ◆新3学期制への移行を 提案

**問** 長期休暇前に評価を行い課題を明確にすることは、学習の振り返り、苦手克服を図る上からも、子どもの学びにとって大切である。保護者からも3学期制

**問** 2学期制導入時の課題として、通知表が2回になり成果の把握が難しくなるのではとの問いに対して、「夏休みや冬休み前の保



認可保育園の待機児童についての報道